

令和3年 9月 10日～ 14日

鳥羽市議会会議

一般質問通告者一覧表

発言通告者	議席番号	10番	氏名	戸上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>新型コロナウイルス感染症第5波は「感染爆発」の状況に至っている。自治体はいま総力を挙げて住民の命を守らなければならない。そこで以下の諸点について問う。</p> <p>① 市長の現状認識。</p> <p>② 子どもたちへの感染が深刻な状況になっている。保育園、学童保育所、学校でのPCR検査、抗原検査を実施する考えはないのか。</p> <p>③ 新学期を迎え、学校での対応策として、水道栓の感染防止対策、クラブ活動のありかたについて。</p> <p><市長、教育長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	10番	氏名	戸上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 高齢者対策について</p> <p>老人福祉法は「老人を敬愛し、安らかな生活を保障する」と謳っている。鳥羽市の敬老施策はそうなっているか、以下の諸点について問う。</p> <p>① 介護保険の補足給付見直しによる本市への影響。 ② 認知症やうつ病対策としての補聴器購入助成制度の検討。 ③ いきいきお出かけ券に代る新たな敬老サービス事業展開の進捗状況。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	10番	氏名	戸上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 子育て支援策の強化について</p> <p>新型コロナウイルス感染症の蔓延は子どもたちの生活を直撃している。外で思いっきり遊びたい、友だちと触れ合いたいとの最大の願いも阻害されている。</p> <p>今、はつらつとした育ち合いを保証する自治体のサポートが求められている。そこで以下の諸点について問う。</p> <p>① 市民の森小動物園存続の方向性。</p> <p>② 市立図書館への「読書の通帳」の導入。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	2 番	氏 名	濱 口 正 久
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 鳥羽市の子ども・子育て政策の現状と課題からみた地域共生社会のあり方について</p> <p>新型コロナウイルス感染症による影響は、長期かつ多岐にわたっており、とくに経済に与える影響は事業者だけでなく働く側の家計へのダメージも深刻化している。子どもたちを守るには感染対策だけでなく、経済を含め様々な角度から支援していく必要があると考える。子どもたちが安心して暮らせる、住み続けられるまちづくりへの取り組みも喫緊の課題であると考えます。</p> <p>そこで以下の諸点について問う。</p> <p>鳥羽市の子ども・子育て政策について。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ヤングケアラーの現状と課題について。 ② 教育現場での現状把握について。 ③ 鳥羽市の子ども・子育て支援について。 ④ 生活力向上のための所得向上につながる鳥羽市の政策について。 ⑤ 子どもたちのための地域共生社会のあり方について。 <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	12番	氏名	坂倉広子
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 生理の貧困に対する市の考えと今後の取り組みについて</p> <p>世界各国で女性の月経に関する「生理の貧困」が問題となっています。「生理の貧困」とは、生理用品を買うお金がない、また、利用できない、利用しにくい環境にあることを指し、発展途上国のみならず貧富の格差が広がる先進国においても問題になっています。特にコロナ禍での生理の貧困への取り組みについて以下の点を聞く。</p> <p>① 市内の小・中学校や公共施設等の個室、トイレで生理用品を無償で提供できないか。</p> <p>② 困っている子どもたちへの寄り添った支援について聞く。</p> <p>③ 防災備蓄品等を活用した生理用品を保健室に備え、必要な児童・生徒に無償配布できないか。</p> <p>④ 市の職場において、生理時に適切に体を休める環境整備について聞く。</p> <p><市長、教育長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	1 2 番	氏 名	坂 倉 広 子
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 通学路の安全対策について</p> <p>千葉県八街市で下校中の児童が死傷した事故を受け、通学路の安全対策強化の必要性について以下の点を聞く。</p> <p>① 子どもや市民の視点を踏まえた通学路総点検の実施について聞く。</p> <p>② 危険箇所の緊急点検について聞く。</p> <p>③ 市通学路交通安全プログラムの充実と強化について聞く。</p> <p>④ 飲酒運転撲滅運動の啓発について聞く。</p> <p>⑤ 通学路の安全確保に必要な予算の措置について聞く。</p> <p><市長、教育長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	1 番	氏 名	南 川 則 之
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 災害から市民の命を守るための避難所の設置及び対策と土砂災害の被害を防ぐ砂防事業について</p> <p>8月17日、鳥羽市浦村町では、停滞前線の影響で1時間に140ミリの大雨を観測するとともに、記録的短時間大雨情報が出された。一時は警戒レベル4の避難指示が発令され、土砂災害等も発生した。鳥羽市は、急傾斜地等が多く、大雨時土砂崩れが発生するおそれのある個所が点在しており、土砂災害から市民の命を守ることは喫緊の課題である。そこで以下の点についてきく。</p> <p>① 風水害等避難所及び津波避難場所の設置及び対策について。</p> <p>② 桃取地区で実施している砂防ダム建設の現状と今後の計画について。</p> <p>③ 離島地区での防災拠点（避難所）までの上水道耐震管整備について。</p> <p><市長、副市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	1 番	氏 名	南 川 則 之
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 三重県立鳥羽高等学校の活性化に関する鳥羽市の支援・対策について</p> <p>人口減少や少子高齢化が深刻な伊勢志摩地域は、高校の存続すら危ぶまれており喫緊の課題である。地域の活性化に学校が果たす役割は大きく、高校の存続は地域の存続に直結すると言われている。鳥羽市の未来を維持するためにも、三重県立鳥羽高等学校の存在は大きい。そこで以下の点についてきく。</p> <p>① 総合学科の魅力と地域学習を推進するため、鳥羽市が共同で取り組んできた内容と今後の対応について。</p> <p>② 鳥羽高等学校活性化協議会及び伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会の議論について。</p> <p>③ 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）について。</p> <p>④ 鳥羽高等学校の存続の危機感を払拭し、更なる活性化と協働に向けたより一層の充実した支援・対策について。</p> <p><市長、副市長、教育長及び担当課長></p>			